

事務事業名		東北海事広報協会参画事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	01 潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 04 01 09	
	施策名	04 港湾物流ネットワークの構築					
	基本事業名	02 港湾関連企業・団体のネットワーク化					
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 不明 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		
所属	部課名	港湾経済部港湾経済課					
	係名	運輸振興係	電話	0192-27-3111			
			内線	108			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・社団法人東北海事広報協会会員として加入し、負担金を支出している。 ・会員は、平成22年3月31日現在、普通会员として民間企業者等152社、特別会員として9市1町、賛助会員として宮城県港湾協会など5団体、合計167団体等を会員としている東北地区の協会である。市内の事業者も4社加入している。 ・協会では、年一回、会報「海の日特集号」を発行しており、この記事として市長の寄稿を求められ、提出し掲載されている。 ・「海の日」に大船渡港に入港する貨物船等に対し、船舶代理店を通じ、記念品を贈呈している。 ・事業費は、負担金10千円で、その他報償費30千円となっている。						全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 記念品贈呈船舶数 隻	
・市長の広報誌への寄稿 ・「海の日」入港貨物船舶への記念品の贈呈		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
・市長の広報誌への寄稿 ・「海の日」入港貨物船舶への記念品の贈呈			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・東北海事広報協会		名称 単位	
		カ 会員数(事業者、自治体等全部) 企業等	
		キ 会員数のうち市内企業等 企業等	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
東北海事広報協会が、市民に「海の日」の趣旨である、国民が海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願うことなどの海事思想の普及の展開を図るようになる。		名称 単位	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 会報発行数 冊	
・港湾関連企業・団体との連携が図られ、ネットワークができる。		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
投入量	事業費	国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	42	38	39	31	32	24
	人件費	事業費計(A)	42	38	39	31	32	24
		正規職員従事人数	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	8	8	8	8	8	8
		人件費計(B)	32	32	32	32	32	32
		トータルコスト(A)+(B)	74	70	71	63	64	56
活動指標	ア	隻	8	7	5	9	8	5
		イ						
		ウ						
対象指標	カ	企業等	196	192	181	175	171	167
		キ	5	5	4	4	4	4
		ク						
成果指標	サ	冊	1	1	1	1	1	1
		シ						
		ス						

事務事業ID	0425	事務事業名	東北海事広報協会参画事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

本協会は、昭和40年度に設立された団体であり、当市が会員になった経緯は定かではないが、相当前から加入しているものと推察される。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・平成8年から「海の日」として祝日となった。また、平成15年からは、7月の第3月曜日が「海の日」となった。
- ・以前は、海事関係者(港湾関係者)のソフトボール大会などを開催していた時期もあったが、人員減や日程調整の難しさなどにより、現在は「海の日」に入港する貨物船等への記念品贈呈のみの事業としている。
- ・会報「海の日特集号」への寄稿については、毎年度要請があることから継続している。
- ・近年、客船「飛鳥」のセレモニーに係る児童送迎バス運行について支援を受けている。平成21年度は、客船「にっぽん丸」入港時に実施した「おおふなとキッズスクールinにっぽん丸」の児童送迎バス運行について支援を受けている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・意見、要望は寄せられていない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] ・市内民間企業4社が加入し、広報誌として東北管内1,300部が発行され、大船渡市長の寄稿文が掲載されることにより、市、大船渡港のPRがされており、このことにより、港湾関連企業・団体のネットワークづくりに役立っていると考える。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] ・東北海事広報協会に参画し、「海の日」の趣旨である、国民が海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願うことなどの海事思想の普及を図るための事業を展開することは、大船渡港のPRや港湾関連企業・団体のネットワーク化につながることから、妥当と考える。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] ・「海の日」の趣旨をPRするため、「海の日」に合わせた事業を行っており、現状より向上の余地はないと考える。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] ・県内・東北の港湾所在市町村が加入していることから、廃止・休止は難しいものと考える。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] ・類似事業がない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ・国際港湾都市を標榜する当市としては、大船渡港をPRする上で「海の日」入港貨物船等への記念品贈呈や広報誌への市長寄稿は継続する必要があることから、現状の水準は妥当と考える。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ・これまでも業務時間は多くないことから、削減の余地は少ない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] ・他市町村の加入の状況等もあり、民間事業者等も会費を納付しており、不公平はないものと考えている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	経費や業務時間について、現状の水準を維持していく中で、今後も引き続き市民に「海の日」の趣旨である国民が海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願うことなどの海洋思想の普及を図るとともに、市長の広報誌への寄稿などを通じて積極的に大船渡港のPRに努めていく必要があると考える。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も引き続き市民に「海の日」の趣旨である国民が海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願うことなどの海洋思想の普及を図るとともに、市長の広報誌への寄稿などを通じて積極的に大船渡港のPRに努める。経費や業務時間についても、現状の水準を維持していくよう努める。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																						

(職名)	原則として施策の主管課長
2次評価者	港湾経済課長

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																						
☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている																						
評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																						
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	大船渡港PRの方法について検討を要すると思われる。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 東北港湾関係市町村、港湾関係企業が加盟し、ネットワークづくりに役立っており、引き続き参画する。効果的な大船渡港PR事業の方法について検討を要する。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>●</td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●	○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	●	○	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
